

子宮細切剪刀シリーズ TOKONAME & KANEUJI

【警告】

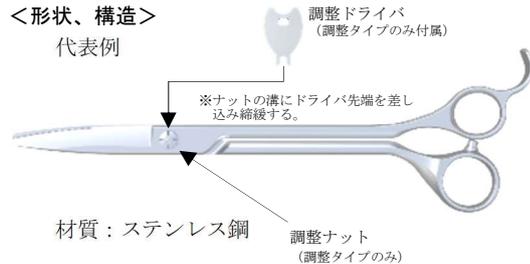
<使用方法>

- ・ クロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD) の患者、又はその疑いのある患者に使用した器具を再使用する場合には、最新の国内規制、ガイドラインを遵守すること。[感染予防のため]

【形状・構造及び原理等】

<形状、構造>

代表例



<原理>

回転軸のある 2 枚の刃 (通常、ハンドルに親指と他の指用の穴がある) からなり、切断する材料の上で 2 枚の刃を閉じる構造を持つ。

【使用目的又は効果】

手術や外科的治療において、臓器・組織、布、縫合糸等の切開・切除及び切離を目的として使用する。

【使用方法等】

1. 使用前の確認

本製品は、未滅菌で供給されるため、必ず適切な方法で滅菌してから使用して下さい。また刃先が非常に鋭利です。十分に注意して下さい。

2. 操作方法・使用方法

通法に従い操作します。

3. 使用後の処置

使用後は、感染の防止、錆防止のための洗浄、滅菌処理 (高圧蒸気滅菌、EOG 滅菌) して下さい。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

(1) 患者ごとに【保守・点検に係る事項】に記載する方法及び条件で、速やかに滅菌前の洗浄・注油・滅菌を行い、使用すること。

(2) 本品を用いた処置により発疹、皮膚炎などの過敏症状又はアレルギー症状が現れた患者には、使用を中止し医師の診断を受けさせること。

* (3) 破折等の恐れがあるので、以下は行わないこと。

- ① 本品に対する曲げ・切削・加圧等。
- ② 粗雑な扱い。(キズをつける・落下させる・強い衝撃を与える等)
- ③ 空切り(何も切らないで開閉する事。)を避ける事。(カジリの原因となる。)
- ④ 調整ナットの過度な締め込み。(カジリの原因となる。 ※調整タイプのみ。)

(4) 薬液等が付着した場合、腐食する恐れがあるので速やかに清拭すること。

【保管方法及び有効期間等】

<貯蔵・保管方法>

- (1) 高温、多湿、直射日光を避け、水濡れに注意し、清潔で換気の良い場所で保管してください。
- (2) 金属電位差を要因としたガルバニック腐食を防ぐ為、材質の異なる器具と一緒に保管しないこと。
- (3) 「もらいさび」を防ぐ為、以下のことに注意すること。
 - ① 錆びている器具と一緒に保管しない。
 - ② 化学薬品と一緒に保管しない。
 - ③ 滅菌器、保管庫等の内部に発生する錆びに注意する。
- (4) 変形の原因となるので、トレー・コンテナによる移動及び保管は丁寧に行うこと。なお、トレーやコンテナを使用する際は重い器具を載せないこと。

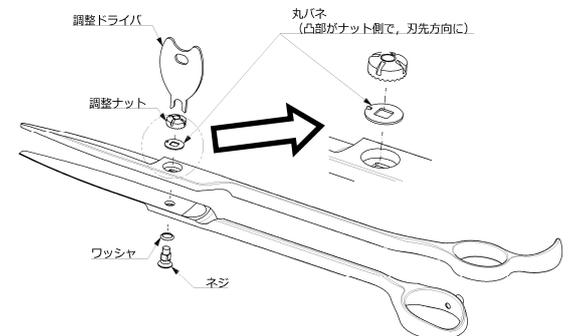
【保守・点検に係る事項】

(洗浄・注油・滅菌の方法)

- * 1. 血液・体液・組織片、薬品等により汚染した器具は、汚染物質が乾いて固着する事を防ぐ為、使用後直ちに以下の手順にて洗浄・滅菌を行うこと。汚染物質を付着したままにしておくと、除去しにくくなることもある。

① 【分解】(分解可能タイプのみ)

調整ドライバーの先端を調整ナットの溝に差し込み、反時計方向に回す事によりナットが外れ、調整ナット、丸バネ、はさみ刃材、ワッシャ、ネジに分解する。(一般的な「はさみ」と比較すると、本製品の刃先は非常に鋭利です。十分に注意して下さい。)



② 分解不可能なタイプは、関節部を開く。

③ 超音波洗浄装置・ウォッシャー・ディスインフェクター等の洗浄装置を用いて洗浄する。(調整タイプは、部品の紛失に気を付けて下さい。)

④ 全体に医療用防錆潤滑油を塗布する。(防錆潤滑油に浸す)

⑤ 乾燥する。

⑥ 【組立】(分解可能タイプのみ)

分解時と逆手順で各パーツを組立てる。組立前に各パーツの変形、破損等が無い事を確認する事。丸バネは凸部が調整ナット側で、刃先方向になる様に装着する。調整ナットを強く締め込み過ぎるとカジリの原因となる為、避ける事。締め込みが緩いと切断能力が低下する為、切断対象物に対し適切な締め込み力で、締め込む事。

⑦ 接合部及び可動部には医療用潤滑剤を塗布する事。

⑧ オートクレーブ滅菌器を用い滅菌する。

2. 他器具との接触による損傷を防ぐ為、滅菌バッグ、ケース等に入れる事を推奨する。

3. オートクレーブ滅菌器は使用状況・期間等により、庫内に汚れが付着する場合があります。汚れを除去しないままオートクレーブ滅菌を行った場合、器具へ汚れが付着する恐れがあります。庫内に汚れた状態にならないよう、滅菌器の添付文書又は、取扱説明書に従い、定期的な清掃を奨励する。特に、チャンパー蓋パッキンやエアフィルターは定期的な交換が必要となる場合があります。

(洗浄・滅菌上の注意)

1. 強アルカリ/強酸性洗剤は、器具を腐食させるおそれがあるため、使用しないこと。誤ってこれらが付着したときには、直ちに水洗いをする。超音波洗浄装置での使用する洗剤は、ネオアルベス WE 等、ウォッシャーディスインフレーターで使用する洗剤はネオアルベス WA 等の弱アルカリ洗剤を使用すること。また、金属たわしやクレンザー(磨き粉)等は器具の表面を傷つけるため、使用しないこと。
2. 洗浄及び滅菌に使用する水は、蒸留水や完全脱イオン水(RO水)をご使用ください。水道水中に含まれる残留塩素及び有機物質が、シミや錆発生の原因となります。
3. アルコール等の薬剤を用いるオートクレーブ滅菌は、金属を腐食させるので行わないこと。
4. プラズマ滅菌は、素材に影響を及ぼすので行わないこと。
5. 推奨オートクレーブ滅菌条件
※低温での処理を推奨する。

滅菌温度	保持時間
115-118℃	30分
121-124℃	20分
126-129℃	10分
134℃	4分

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：足立工業株式会社

電話番号：0575-22-0052

製造業者：足立工業株式会社